



調査研究報告書 第35号

総高訓修了者の 職場における評価について

昭和49年度

職業訓練大学校

総高訓修了者の

職場における評価について

担当者 富田康士

協力校 岩手総合高等職業訓練校
茨城総合高等職業訓練校
神奈川総合高等職業訓練校
鳥取総合高等職業訓練校
職業訓練大学校附属短期学部

目 次

I はじめに	1
II 調査の目的	
1. 調査の枠組み	4
2. 調査の対象	7
3. 調査の時期と方法	7
4. 調査票の回収	8
5. 調査の対象となつたサンプルとその特質	8
III 調査の概要	
1. 企業は技能職要員を採用しようとするとき、どのような能力をもつた人を、どのような教育機関出身者に求めようとしているか	1 3
2. 実際の求人活動では、どのような教育機関から技能職要員を採用しようとしたか	1 4
3. 総高訓修了者の企業における給与の位置づけはどうか	1 7
4. 総高訓修了者の企業における身分の位置づけはどうか	1 9
5. 各教育機関出身者は、学校等で習得した技能、知識を生かした職場にいるか	2 1
6. 各教育機関出身者が実際に身につけている能力とはどのようなものか	2 2

7. 各教育機関出身者が身につけている能力（知識の理解力や技能の程度）は職場においてどのような変化をしているか	3 1
8. 特性等について各教育機関出身者別に特徴がみられるか	3 8
9. 採用担当者による総高訓の教育に対する意見と希望	4 4
10. 総高訓修了者の所属する職場の上司による総高訓の教育に対する意見と希望	4 5
IV 調査の要約	4 8
V 検討すべき問題点	5 8
VI 資料	
1. 集計結果の一覧	6 3
2. A・Q 1 2 および B・Q 1 6 の自由記述	7 5